

**製品名: CD3D マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82488**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	18.9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD3D
別名	T3D; IMD19; CD3-DELTA
遺伝子 ID	915.0
SwissProt ID	P04234
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD3D (AA: 127-171) の精製された組み換え断片。

**背景**

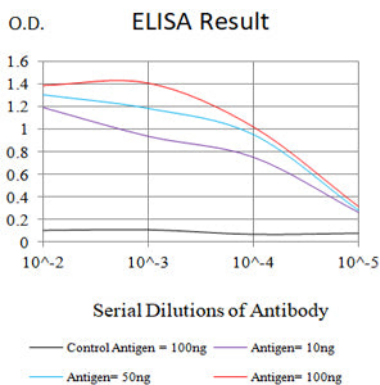
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞受容体/CD3 複合体 (TCR/CD3 複合体) の一部であり、T細胞の発生とシグナル伝達に関与しています。コードされる膜タンパク質は CD3 複合体のデルタサブユニットを構成し、他の4つの CD3 サブユニットと

ともに、TCR $\alpha/\beta$ またはTCR $\gamma/\delta$ に結合してT細胞表面でTCR/CD3複合体を形成します。この遺伝子の欠陥は、常染色体劣性T細胞陰性/B細胞陽性/NK細胞陽性の重症複合免疫不全症（SCIDBNK）の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。他のバリエーションも存在する可能性があります、それらの転写産物の全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2009年2月]

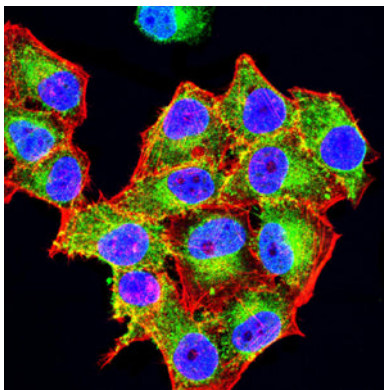
## 研究分野

-

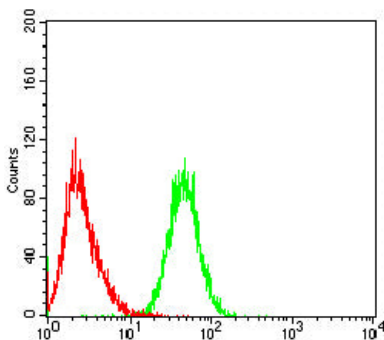
## 画像データ



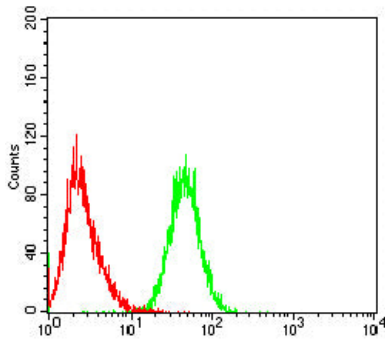
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



CD3D マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD3D マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD3D マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。